

Pick Up!

2025年OPEN「RILNO福岡」で理想の暮らしをカタチに。

田中工藝のオーダーキッチンブランド「RILNO（リルノ）」は、住む方の「理想の暮らしをカタチにする」ことをブランドミッションとして掲げています。2025年6月、福岡市春吉にオープンした「RILNO福岡」は、まさにその理念を見て、触れて、体感していただける特別なショールームです。

最大の見どころは、異なる2つの住環境をわかりやすく対比させた展示構成です。一つ目は新築をイメージした、天井が高く開放的でゆとりのある空間のキッチン。二つ目はリノベーションを想定し、あえて天井高を少し抑えた「コンパクトで、現実的なスケール感の空間」です。異なる条件の空間でありながら、オーダーキッチンならではの柔軟な設計力により、それぞれの空間の良さを最大限に引き出す工夫が散りばめられています。

リノベーションの現場では既存の梁や配管、限られた広さなど、様々な制約があると思います。RILNOでは、そうした制約すらもデザインのアクセントとしてポジティブに変換し、お客さまに寄り添った最適なキッチンをご提案します。お打ち合わせや提案の場として、ぜひショールームをご活用ください。



田中工藝<RILNO福岡 ショールーム>

住所:〒810-0003 福岡市中央区春吉2丁目9-26 BAL.HARUYOSHI 2F
TEL:092-401-8350 (担当:稲津 乃輔)
OPEN:10:00~17:00 (定休日:水・日)

NEWS!

九州沖縄事務局からのお知らせ

熊本支部長就任に寄せて～2026年度活動方針～

2026年度から、熊本支部長に就任することになりました。熊本支部はこれまで10年以上、ASTERの中川氏が支部長を務められ、支部の発展に尽力いただきましたが、支部内での代謝を図り、今後より良い支部へ発展していく一つの施策として、支部長交代の運びとなりました。

今年度は、これまで支部として積み重ねてきた取り組みを継承しながらも、チャレンジする年にしたいと考えています。年度スタート前には、定例会やRBS、イベントの年間スケジュールを決め、各行事の担当者を各社に振り分けました。RBSやイベントは、B向けかC向けか、建築向けか不動産向けかなどを意識して告知及び集客することで、参加者がよりメリットを感じられるような内容にしていきます。

また、RENOVATION NOWに代わるイベントとして、10月に他団体との合同住宅イベントを計画しており、これまで接点がなかったような方々との交流や認知拡大につなげていくつもりです。協議会の強みであるトップランナーとの繋がりや情報取得だけでなく、実需に結び付くことにも注力し「会員各社のそれぞれの満足度を上げること」、そして、魅力ある支部にすることで新規会員を増やし「支部としての底上げをすること」を、今年度の方針として活動してまいります。

まだまだ至らない点も多く、皆様にご相談する場面もあるかと思いますが、その際はどうぞよろしくお願いいたします。



熊本支部長 大田黒歩 (銀杏開発株式会社)

「RENOVATION NOW」は各支部の新たなイベントへ

昨年度まで九州沖縄エリア全体で行っていた「RENOVATION NOW」。今年度はこれまでの形式から、各支部が主体となって開催する「生活者や非会員などへリノベーションの魅力を発信する広報イベント」へと生まれ変わります。これまで以上に、それぞれの地域に根ざした視点でイベントを企画することで、よりリノベーションの魅力を発信できると考えております。各地域の特性を活かした独自のイベントが開催されるので、詳細を楽しみにお待ちください。

また、今年度は多様な会員が興味を持てるよう、地域の会員構成を踏まえたイベントも予定しております。請負会社や不動産事業者、住宅設備メーカーなど、業種や規模を問わず、どの会員にとっても参加しやすく、学びや交流の場となるような内容を予定しております。入会間もない方や普段イベントに参加する機会が少なかった方にとっても、気軽に足を運べるよう企画・運営を進めますので、ぜひ積極的にご参加ください。



昨年度のイベントの様子



九州沖縄エリア部会 事務局 平成広告宣伝事務所 土田芳史

5月以降の主なスケジュール

5月28日(木)	福岡支部例会 リノリビング 戸建モデルルーム 見学会(福岡市早良区野芥)	7月 7日(火)	エリア役員会(アポロ計画)
6月 2日(火)	事務局会議(はびりの)	7月 17日(金)	RCNT アップデートセミナー (リファレンスキャナルシティ博多会議室 / YKK AP 福岡SR)
6月 11日(木)	福岡RBS インテリックス 山本卓也会長が語る 「買取再販の歴史と未来」 (アクロス福岡)	7月未定	北九州支部例会
6月未定	鹿児島支部例会	7月未定	宮崎支部例会
7月 2日(木)	熊本RBS	8月 4日(火)	事務局会議(はびりの)
		8月 27日(木)	福岡・北九州支部合同RBS 「デザイン志向の リノベ実務者研修会」 (TOTOミュージアム)

Renovation Times 一まるごと九州・沖縄 Vol.13 2026年5月号

発行 一般社団法人リノベーション協議会 九州沖縄エリア部会
(エリア内正会員61社 / 賛助会員16社 / 2026.3.14現在)

発行人 馬越重治(エス・コンセプト) 編集長 山崎大亮(はびりの)
制作 吉田千裕(はびりの) 編集人 原文美(ハラプロ)
発行日 2026年5月10日 メール news@renovationnow.net

Renovation Timesでは、リノベーション協議会に参加されている各社の取り組みを積極的にご紹介しています。掲載をご希望の方は、お気軽に上記までご連絡ください。【次回の発行は2026年8月です】



〳まるごと〵
九州・沖縄

Renovation Times

VOL.
13
2026.05



かえる。くらし。すまい。
リノベーション協議会



福岡支部 森美朗
株式会社リビングデザイン代表取締役。2015年に創業。福岡県飯塚市を拠点に、経営理念を「リノベーションを通じて関わるすべての人を豊かに」と掲げ、地域へ筑豊エリアに根ざした成長を目指している。

コロナで減った支部例会
リアルな学びが欲しかった

森_私が退会を考えたのは、活動の中で得られるものが減ったと感じたからです。コロナ禍以降、福岡では例会もなくなり、イベントに参加しても見知ったメンバーとの交流が中心。しかも、リノベの話より懇親や雑談が多くて。これだと、時間とお金ももったいないと思いました。

福添_ワーキング(エリア役員会/以下WG)は定期的に開催していたんですが、一般会員が参加できるイベントは確かに減っていました。協議会発足期には相互発表する場もあったけど、ここ数年は一方通行になっていたかもしれない。

山崎_それには2つの原因があると思います。一つは福岡に支部がなく、九州沖縄全体の動きをサポートするWGが兼任していたため、福岡独自の活動がおざなりになっていたこと。そして、もう一つが役員の固定化に伴うパワーダウンです。

徳永_確かに、協議会設立時は熱があったよね。僕が若かった頃は関西や東海部会なんかとも交流が盛んだっだし、学びも多かった。

森_私も創業時にいろいろな団体への入会を検討したんですが、その時は協議会が一番活動的で、ステキな人が多いと感じました。

大切なのはエリアの特性
支部活動のニーズは異なる

山崎_今期、福岡支部を作ったのはそのためです。例えば東京に本社がある大手メーカーでも、本社部門と首都圏営業部では役割が異なりますよね。同じ

九州沖縄エリア部会
事務局兼福岡支部長
山崎大亮



(株)はびりの代表取締役。2014年に創業後、福岡都市圏のワンストップ事業(仲介+リノベ)でトップクラスの事業社へと成長。再販も手掛ける。2017年に協議会入会、2023年から支部役員としても活動中。

ように、九州の中で福岡と他支部では会員構成も異なり、必要とされる情報も違います。協議会が活性化するためには、地域の特性に根ざした支部活動がとて大切なんです。

森_確かに、当社が基盤とする筑豊エリアではそもそもマンションが少ないし、最先端のデザインに対するニーズもそれほど高くありません。東京や福岡の事例ばかりだと、正直興味を持ってないこともありました。

福添_リノベーションが一般化したからこそ、協議



対談場所は、飯塚市のリビングデザイン本社事務所。創業10年で、自社ビルを構えるまでに成長した。



福岡支部 副支部長 徳永祐史

(株)ハイエンド取締役。福岡を中心に、全国で富裕層向けのリノベーションを手掛ける。機能美にこだわり、すべての空間デザインにおいて「上質であること、快適であること、心地が良いこと」を重視している。

TOPIC!

大盛況! 2025年度 年次総会&プレゼンバトル



会が最先端ではなくなり、時代に取り残されてしまったのかもしれない。だからこそ、会員のセグメントや地域性、ニーズを意識した上で、学べる機会を増やしていくことが重要だと思います。
徳永__そういう視点だと、リノベーション・オブ・ザ・イヤーのあり方も見直したいな。いまだに大手のリフォーム会社に行く富裕層も多いけど、デザイ

協議会を構成する主なセグメント



設計事務所(例:ブルースタジオ)、買取再販事業者(例:インテリックス)、リノベ会社(例:リノベ)が隣接したセグメントを巻き込み、メーカーなどの周辺事業者と共にリノベーション事業の普及を目指すことが協議会の成長につながる。

ン性では負けてないですよ。情報が届いていない層にも、もっとアピールしていくべきなんです。

リノベはオシャレじゃなくてもいい 多様性の時代にブランド化を目指す

山崎__協議会ってそもそもビオトープみたいな多様性が魅力だし、それを高めていくべきだと思っています。徳永さんには悪いけれど(笑)、リノベはオシャレじゃなくてもいいんです。設計事務所も工務店も、そして不動産会社もそれぞれの違いを認め合い、互いをリスペクトすることが大切です。

福添__そういう意味では、買取再販はかなり社会的に認められたと感じています。新築って、昔から全然変わってないですよ。いい設備を入れて、ハイグレードな空間にする。でも、それだけじゃダメなんです。準備に手間はかかるけれど、中古リノベの方が断然満足度は高いと思います。

森__多様性という視点では、WG固定化も課題だと思ってました。他団体では役員任期を定めているところが多いし、それによって組織が活性化していません。人が入れ替わることで、提供される情報も変わるのではないのでしょうか。

徳永__そもそも、横のつながりが協議会の大きな魅力ですよ。だからこそ、多様なプレイヤーが手を組んでコンペにエントリーしたり、他事業者との連携をもっと強化すべきなんです。

山崎__組織の多様性を高めるためには、既存メンバーに協議会をもっと活用してもらいつつ、役員の固定化も改善すべきですね。その点は大きな課題と認識しています。

業界全体の発展を意識し 交流と発信を強化していく

徳永__リノベのスキルって、どうしても属人化するんですよ。もちろん、富裕層向けの会社や設計事務

福岡支部 副支部長 福添建一

ふくろう不動産(株)代表取締役。地場デベロッパー勤務を経て、2011年に創業。2016年から中古マンションの再販を主力事業とする。健康づくりにつながる住まいの提供を目指し、自社ブランド「つくらし」を展開中。



所は、今後も個人名が意味を持つと思うけど、本当は会社自体をブランド化することが大切ですよ。そして、その取り組みを会員間で共有していくことで、リノベーション業界全体の盛り上げに繋げるべきだと思っています。

福添__残念なことには、不動産業界はまだ新築中心なんです。自社だけでは発信に限界があるからこそ、協議会全体の力でリノベの需要を喚起していきたいですよ。

山崎__リノベの会社って、大手の再販事業者を除くと規模の小さな会社が多いんです。そういった会社のクラフトマンシップもリスペクトしながら、今後はマス層のお客さまも安心して相談できる事業者が増えることが重要だと感じています。

福添__残り時間も少なくなってきましたが、森さん、どうでしょう。今後の福岡支部の活動に期待して、退会は考え直していただませんか?

森__わかりました。改めて活動に参加し、もう一度つながりを広げることができないか、私自身も動いてみようと思います。



先達に学ぶ

経営コンサルタントとして知られる一倉定氏が「郵便ポストが赤いのも社長の責任」と言っています。会社トップには他責思考でなく、自責思考を求めた発言です。ですが、これはなにもトップに限ったことではありません。どんなポジションにおいても自責思考で問題を直視し、挑戦し続けなければ成長は見込めません。

当社が福岡都市圏で規模拡大できたのは、間違いなく協議会のおかげです。心より感謝しています。たくさんの先輩から指導や助言をいただき、協業する中で私が大切にしたのは「テイカーではなく、ギバーになる」という意識です。協業で生じるリスクを折半するのではなく、まずは自分自身が負う。自己のメリットよりも、相手のそれを優先する。そして、結果として信頼を得る。

協議会活動が停滞しているとなれば、そこには何らかの理由があるはず。まずはリーダーシップを取る側がその事実と向き合い、根源的な原因を分析し、対策を実行する。評論家にならず、実践者となる。大きなムーブメントも、小さな取り組みの積み重ねから生じるものです。今年から始める福岡支部の活動に、どうぞご期待ください。

<インタビュー>
九州沖縄エリア部会 事務局長
山崎大亮(株式会社はびりの)

Column

九州沖縄エリア部会はずい

2010年7月に九州沖縄エリア部会が発足して以来、支部が各地に生まれ、昨年は宮崎にも支部が生まれました。そして各支部のイベントなどの活動がそれぞれのエリアに生まれ、それに伴い会員が増えました。

しかしながら、コロナ禍の自粛により、福岡における活動が減っていました。そこで今年の2月に「年次総会」という形で、九州沖縄各地から、特に福岡エリアの会員さんに集まっていただきました。多数の会員にご参加いただき、非常に盛り上がった年次総会となりました。時節柄、お忙しい中にも関わらず、ご参加いただいた皆さま、本当にありがとうございます

した。また、てんこ盛りのプログラムでしたが、準備と運営にご尽力いただいた皆さまにも感謝申し上げます。

年次総会でも話がありましたが、福岡での活動を充実させていくために、今後は「福岡支部」が主体となってさまざまなイベントを開催していきます。ぜひ奮ってご参加ください。

九州沖縄エリアでは、各地の支部長を中心としたスタッフが能動的に活動を行っています。これは全国の他エリアと比較しても、非常にすばらしいことです。これからは九州沖縄エリアで培った活動内容を他エリアにも提供させていただき、協議会全体の発展に役立つようにしたいなあ…と 思っている今日この頃です。



リノベーション協議会 理事 馬越重治

たくさんのご参加、ありがとうございました!



2026年2月10日に開催した「年次総会兼新年会」では、会員各社のPRポイントを5分ずつで紹介する「プレゼンバトル」を開催しました。現場で集計したところ、参加者が「もっと聞きたい!」と感じた1位はひまわりの杉さん、2位はタムタムデザインの田村さん、3位は安心計画の村本さんという結果となりました。ご準備いただいた皆さま、本当にありがとうございます!



7 YKK AP 舟越千明/堀脇進也



8 ホームシック 日高涼



9 朝日ウッドテック 佐藤圭



10 安心計画 村本龍星



11 ジャパンシールド 石原麻衣/上村竜紀



12 ドリーミィ大和 原口直樹



13 有村建築設計工房 有村昂大



14 タムタムデザイン 田村晟一朗



15 LIXIL 蔵原健一/中村正治



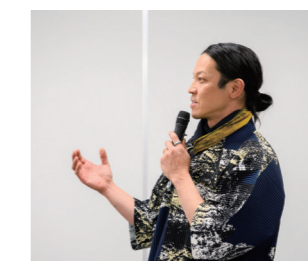
16 サンゲツ 植山晴可



17 ノダ 中本卓



18 トーソー 北條晃



19 ひまわり 杉佳亮



20 トクラス 山中雅貴



21 平成広告宣伝事務所 土田芳史

(敬称略)